2022.01.06. 木曜礼拝 祈りが答えられない理由 イザヤ 58 章&聖餐式

JD ファラグ牧師

それでは、こんばんは。週半ば「聖書の学び」へようこそ。木曜日の夜は、(旧約)聖書を節ごとに学びます。現在、素晴らしい「イザヤ書」です。実は、終盤に近づいていて、今夜、58章の1章だけ学びます。先週、57章を学び終えました。今夜は、聖書の学びの後に、共に聖餐式に与かります。ですから、オンラインでご覧になっている方、聖餐式セットを準備しておいてください。終わりに一緒に与りたいと思います。それでは、祈りの言葉から始めます。今夜の御言葉におけるこの時間を祝福下さるよう神にお願いしましょう。一緒に祈りましょう。

愛する天のお父様。どうもありがとうございます。主よ、この木曜の夜の聖書の学びは、私たちにとって 一週間のハイライトです。忙しさを忘れ共に集まり、共に交わり礼拝し、聖書を開きあなたの御言葉に入 り、あなたが私たちの人生に語りかけて下さるように、あなたの御言葉が私たちの中に入ってくるそん な一夜なのです。主よ、あなたが今夜、ご用意下さっている事を楽しみにしながら、大きな期待をしてい ます。また大変楽しみなのが、毎月第一木曜日に行う聖餐式のお祝いです。主よ、それも楽しみにしてい ます。今夜、すべてが終わったとき、主よ、私たちの中であなたが栄光に輝かれることを望みます。私た ちは、あなたを褒めたたえたいのです。私たちは、すべての名に勝るイエスの御名を称えたいのです。 主よ、この聖書の学びに来られているか、オンラインで見ている多くの人が、本当に苦労し、傷つき、疲 れ果てていることも分かっています。主よ、あなたが疲れた者を引き上げてくださることを感謝します。 心の折れた者に寄り添って下さることに感謝します。聖霊の力によって、私たちの心を強め、励ましてく ださることを感謝します。あなたの御言葉が私たちの人生にも、必要な影響を与えて下さることを感謝 します。主よ、だから私たちは今夜ここにいるのです。私たちがここにいるのは、あなたに飢え、渇いて いるからで、あなただけが私たちのその飢えと渇きを満たせると知っているからです。多くの人が、適切 に語られる御言葉を必死に聞きます。あなただけが御出来になられる通り、あなたが話されるときの聖 霊の静かな小さな声を。ですから主よ、お語り下さい。あなたのしもべが聞いています。イエスの御名に よって祈ります。アーメン、アーメン。

それでは! この章で、神は、預言者イザヤを通してある意味方向を変えられます。神がそうなさるのは、非常に深刻な問題に対処するためです。当時のイザヤの時代にこれは深刻な問題でした。また、現在の私たちにとっても深刻な問題です。それは、祈っても、特に断食しても効果がなく、イザヤの時代の人々がそうであったように、神がその民の祈りを気にかけておられない、聞いておられないとよく誤解されることがあります。預言者イザヤを通して、神だけが御出来になられる通りをこれから見ていきます。祈りや断食が気に留められず、答えられないのはなぜか、そしておそらくもっと重要なことは、そのために何をすべきかを説明します。では、準備はいいですか? 1節から始めましょう。

イザヤ 58

1 精一杯大声で叫べ。角笛のように声をあげよ。わたしの民に彼らの背きを、ヤコブの家にその罪を告げよ。

2 このわたしを、彼らは日ごとに求め、わたしの道を知ることを望んでいる。義を行い、神の定めを捨て たことのない国のように彼らは正しいさばきをわたしに求め、神に近づくことを望んでいる。

言い換えれば、それは、外見上の特徴です。しかし、それが問題なのです。なぜなら、彼らの心の中にあ

ることと一致しないからです。彼らは外見上、主を求め、義を求め、神の掟を捨てない者として知られています。彼らはそう見えます。イザヤは、大声で叫び、ラッパのように声を上げろと言われます。私たちが神の声を聞き、耳を傾けなければならない時には、時に大声が必要となります。イザヤが大声で、声を上げて叫び、民に向かって言うべきことは何だったのでしょうか。お~イザヤが民に言うべきなのは、「なぜ無駄に主を求めるのですか? お~あなたがたは良いショーを見せてくれていますよ。つまり、誰もがあなたがたを見ている。お~彼らを見て。断食してるよ。彼らを見て。祈っているよ。彼らを見て。

3『なぜあなたは、私たちが断食したのに、ご覧にならず、自らを戒めたのに、認めてくださらないのですか。』...

ああ、神のせいだというの?

主を求めてるよ。お~あなたがたが知っていたなら。」3節、

…見よ。あなたがたは**断食**の日に自分の好むことをし、あなたがたの労働者をみな、追い立てる。 それが問題です。

4 見よ。あなたがたが断食をするのは、(興味深いです)争いとけんかのためであり、不当に拳で殴るためだ。あなたがたが今のように断食するのでは、いと高き所に、その声は届かない。

わお! ここでは、なぜ神が彼らの断食を気に留められないのか、なぜ神は彼らの断食を喜ばれないのか、なぜ神は彼らの祈りを聞かれないのかが生々しく描かれています。簡単に言えば、彼らは良く言えば不誠実、悪く言えば不正直です。興味深くないですか? 彼らが断食をしていたのは、自分たちの努力や議論の中で、議論に勝つためだったのです。つまり、それ以上に悪いことに、彼らは断食をしながら、同時に邪悪な拳で殴っていました。このような状態でした。今から話しますが、彼らは、そういう風に他人に接していたのです。けれども、外見上は、断食をして主を求めている姿はとても霊的に見えました。しかし、これが裏で行われていることです。お~神がそれに気づかれないと思いますか? 誰も見ていないところで、あなたがどのように人と接しているのか。ええ、神はいつも見ておられます。神はすべてをご覧になります。

5 わたしの好む断食、人が自らを戒める日とは、このようなものだろうか。葦のように頭を垂れ粗布と灰を敷き広げることなのか。これを、あなたがたは断食と呼び、主に喜ばれる日と呼ぶのか。

6 わたしの好む断食とはこれではないか。悪の束縛を解き、くびきの縄目をほどき、虐げられた者たちを 自由の身とし、すべてのくびきを砕くことではないか。

言い換えれば、神はまず、これがあなたがたがしてはいけないことで、代わりにこれがすべきことだと仰っています。完全に、言い方がマズかったですね。でもポイントは分かりますね? つまり、「これは、カネオへ方面ではありません」という看板に何の意味があるのか?です。まあ、ありがとうございます。大変役に立ちます。これは行き先ではない? じゃあ行き先は? 何が行き先(道)なのか? これが本質的に神が仰っていることで、「それは断食する為の道(方法)じゃない。こっちが、断食する為の道だ。」これが神の御言葉で私が好きなところです。そうではなく、こっちをしなさいと仰らず、これをしてはいけないとは、神は決して仰いません。それは断食する為の方法ではない。こっちが断食する為の方法です。聖霊によって、使徒パウロがコリントの教会に宛てて書いた手紙を考えます。

「それは愛ではありません。あなたがたは、自分がとても愛情深い、受け入れていると思っているのですか?それとも思い上がっているのですか?」(Iコリント 5:1~2 参照)

「お~私たちは何でも受け入れる。ただそのままできてください。問題ありません。私たちは愛のある教

会なので、ただあなたを愛します。誰でも受け入れます。継母とセックスしている人でも。だって、私たちは愛があるから。」使徒パウロは、自分の力と聖霊の力の全力で、彼らに言います。

「それは愛ではありません。愛とはそういうものではない。これが愛というものです。」そして 私たちは、それを親しみを込めて「有名な愛の章」と呼びます。この章は、私が執り行う結婚式の要望第一位で、読むように頼まれるのが愛の章「第一コリント人への手紙 13 章」正直に言うと、私は時々、カップルと一緒に座ってこう言いたいので、本当に難しいです。

「この章の内容を理解していますか?これは叱咤激励です。結婚式で、出席する家族全員の前で叱責されたいなら良いです。」そういう内容なので、私たちは叱責します。それがここでイザヤが言っている事です。「それは断食ではない。断食だと思っているのですか?違います。」こっちが本当の断食です。

「では、はい。断食とは何ですか?」お~わたしが選んだ断食は、「悪の束縛を解き、くびきの縄目をほどき、虐げられた者たちを自由の身とし、すべてのくびきを砕くこと」です。意味合いは、彼らは、上記の全てをやっていたのに、断食をしていたのです。このように言う失礼を許していただきたいのですが、神がこう仰っているようです。「からかっているのですか? 断食をしながら、同時にこれらのことをしているのはなぜ? なぜ断食するのですか? それをやめて、これを始めなさい。」

イエスが、大変厳しい態度を取られた時を思い出します。私たちは、驚くことではありませんが。救い主の口から出た最も厳しい言葉は、当時の宗教指導者に向けられたものでした。イエスは彼らを叱り、こう仰います。

「あなた方の断食は、私に対する侮辱です。人に見せようとしているからです。(マタイ 23:5 参照)あなたがたは、断食をしていて、シャワーも浴びない。」それだけでも問題ですね。そして、髪も洗わない。髪が残っているならね。最近、私の問題は、また少なくなってきたこと。「あなた方は服を裂き、粗布と灰を被り、言う。"私は断食している。私は相応しくない。"偽善者たちよ。」「あなた方は祈る時、通りの角で、人に見せて祈る。」だからあなた方は、故意にも、実際よりも霊的に見せたいのです。」まるで神がそれを聞いて下さるかのように。あり得ません。それは、外に向かって自分勝手に見せているのであって、内面は、無私無欲の献身ではありません。イエスは仰います。「断食したいのですか? 誰にも断食することを知らせてはいけません。まず第一にそれです。私は断食をしています、と言ったとたんに、それを台無しにします。」なぜ断食をしていることを人に知られたいのか? 自分が本当に霊的だと思われたいから? 違います。人に言わない。「大々的にアピールする必要はありません。わたしにはわかります。でも、大々的にアピールするのであれば、わたしは見ません。ですから髪を梳かして、お願いだからシャワーを浴びて、きれいな服を着て、そして断食をしてください。わたしはそれを目に留めます。」しかし、次のような問題を抱えています。人との接し方。どうやら、彼らは人々にかなりの重荷を背負わせていたようです。人々を抑圧し、人々に過度の負担をかけていました。彼らは実際に、先ほど、「不当な拳で殴る」と読みました。かなりのイメージですね。そして今や、悪の束縛です。7節、

イザヤ 58

7 飢えた者にあなたのパンを分け与え、...

再度、あれは断食ではない。これが断食です。

…家のない貧しい人々を家に入れ、裸の人を見てこれに着せ、あなたの肉親を顧みることではないか。 8 そのとき、あなたの光が暁のように輝き出て、あなたの回復は速やかに起こる。あなたの義はあなたの前を進み、主の栄光があなたのしんがりとなる。 私にとって驚愕するのは、この対比です。つまり、これが主に受け入れられる断食。これが、多くの役に立つ断食と祈りです。偽善ではなく、誠実さがあり、何の見返りもない人に、親切に、寛大に接している時です。それが真の意味での博愛と愛です。神はそれに目を留められます。「マタイの福音書 7 章」を思います。これは、本当にひどい告発で、多くの聖書解説者が、イエスが仰っている事の強烈さを本当に捉えようと苦労しています。「マタイの福音書 7 章」じゃないかな。後で、皆さん正してください。

あなたがたがこれらの最も小さい者に一杯の水を与えるのは、わたしに一杯の水を与えるのと同じです。 (マタイ 10:42 参照)

私たちが、自分のことができない人の世話をすると、神は目に留めてくださいます。これについては先週話しましたね。「ヘブル人への手紙」が終わって、御心なら「ヤコブの手紙」でそれを見ることになるでしょう。しかし、これは純粋な未定義の儀式です。やもめや父のいない者を助けたり、牢獄にいる者を訪ねたりすること。それが神のご関心を引くのです。 これが、救い主がこの地上での公のミニストリーをされたときのことではないでしょうか。 言い換えると、人との接し方の大切さが、私たちの祈りや断食に大きな影響を与えます。誇張できるかどうか分かりませんが、今夜、私たちが一緒に聖餐式に与る事が興味深いのが、「第一コリント 11 章」には、読んだり聞いたりするたびに、誰もが背筋の毛が逆立つような 1 節があります。このコリント人は、価値のない聖餐式をしています。なぜか?

何人かは病気になり、何人かは死んでいきました。(Iコリント 11:30 参照)

なぜか? なぜなら、彼らはキリストにある兄弟姉妹を不当に扱っていたからです。 キリストにある兄弟姉妹をどのように扱うか、これは神の御目から見て大変重要な印象を、当然ながら受けるのではないでしょうか? 繰り返しになりますが、お許しください。あり得ないと思いますし、これは誇張表現ではありません。文字通り、このことの重要性を強調することは不可能です。この件に関しては、もう少しだけ時間をかける必要があるかもしれません。 神は、私たちがどのように他の人を扱うかに目を留められます。 困っている人を見たら、どうしたらいいのでしょうか。私たちは、ヤコブが言うように、彼らに

「温まりなさい。満腹になるまで食べなさい」と言うのでしょうか。(ヤコブ 2:16)

「ねえ、たまにはランチでもしようぜ。」本当ですか? ふむ。あなたは、自分が相手に反応していないのに、なぜ神が、自分に反応してくれないのかと思っています。 あなたが彼らに対応するとき、あたかも主のためにしていることになると、知らないのですか? 裸の人を見たら、服を着せなさい。飢えた人を見たら、パンを与えなさい。落ち込んでいる人、追い出された人を見たら、その人を連れてきて、おもてなしをしなさい。日曜日「ヘブル書」で学びましたね。これに関してもう1つ。親の立場の側面から考えてみます。お付き合いください。できるだけ簡潔で分かりやすい説明を心がけます。子どもたち同士が喧嘩をしたり、不当な扱いをし合うと、どう感じますか? あなたの心を引き裂かないのでしょうか?心がズタズタにならないでしょうか? 私の2人の息子が幼かった頃、いつもいつも喧嘩をしていました。 私は祈りと断食をしたものでした。昔のことなので、今だから言えることですが。私は髪を切りました。髪がとくほどあったのです。しかし、私は祈り、断食しました。

「神よ、どうかお願いします。私は彼らをとても愛しているのに、彼らはいつも喧嘩ばかりします。私を打ちのめします。」耐えられません。それはまるで、天の御父がこう仰っているかのようです。 「わたしの世界へようこそ。無限大のスケールで、わたしがどう感じていると思いますか? あなたは、わたしの子どもたちがお互いに争っているのを見て、わたしの気持ちを味わっているのです。」不思議ではありま

せんか? 先に進む前に、もう1つ。これは重要なので、聞いてください。聖霊に触発された使徒パウロが、日常のリストをあげ始めるとき、不思議ではありませんか。私の話している事が分かりますか? 彼は、全ての罪と、それをする人々を列挙するところから始めます。神の御国を継承するから、闇のわざを脱ぎ捨てなさい。(ローマ 13:12参照)

そしてリストをあげていて、「ガラテア人への手紙」を書き、コリント、ローマへも書きます。つまり、ほぼすべての手紙に、聖霊による使徒パウロの日常のリストが書かれています。そのリストには、殺人、性的不道徳、と思っていたら、突然 一見ほとんど分かりませんが、噂話 誹謗中傷 待って、待って、待って、待って。噂話や誹謗中傷は、殺人と同じリストに入るレベルだと言うことですか? そうです。事実イエスは、「マタイ5章」で次のように仰っています。

「誰かを憎むとき、あなたは心の中で殺人を犯しています。その人を暗殺しています。」

(マタイ 5:21~25 参照)

「ガラテア人への手紙」を考えると、やめたほうがいいですよ。 貪り食ったり、噂したり、噛み付いたり、喧嘩したり、今まで通りの生活を続けるなら、 あなた方はお互いに滅ぼし合う事になります。

(ガラテア 5:15 参照)

時間の問題です。止めなさい。どう他人に接するのか。人との接し方によって、祈りの生活が阻害される ことがあるという点と点が繋がったことがありますか? それがここでイザヤが語る事です。それが、角 笛の音のように大きな声です。9節、

イザヤ 58

9そのとき、(これが鍵です。覚えておいてください。後で戻ります。)

そのとき、あなたが呼ぶと主は答え、あなたが叫び求めると、『わたしはここにいる』と主は言う。 もし、(これも鍵です)あなたの間から、くびきを除き去り、

10 (このリストを見てください) 飢えた者に心を配り、苦しむ者の願いを満たすなら、あなたの光は闇の中に輝き上り、あなたの暗闇は真昼のようになる。

わお~皆さん分かりましたか? これを私は、神の御言葉の「もし私が、、、なら、そうすれば神は」と呼んでいます。 言い換えれば、もし私が、、、

- 1) 私の中からくびきを取り除き
- 2) 誰かを非難することを止める

あなたは、誰かのせいにしているようだが 責めるべき人はあなただ。それをやめなさい。もしも、もしも、もしも、大きなもしも、条件付きですよね? これは神の御言葉の中で条件付きの約束の1つです。神の御言葉には、それらがふんだんに盛り込まれています。神は、私たちの叫びの声に答え、耳を傾けてくださると約束しています。もしも、、、もしも私たちがこのようにすれば、 神は答えて下さいます。自分の問題をすべて人のせいにするのはやめましょう。アダムはどうですか? エバはどうですか? 私は忘れられません。彼らが神に背いて、あの木から食べ、蛇に騙され、神が彼らに近づかれた時の、彼らの反応が。最初にアダムは、

「あなたが与えた女のせいです。」(創世記 3:12 参照)

女に責任の矛先を向けます。するとエバは? 彼女は責任の矛先を、実際、蛇に相対して、神に向けます。 なぜなら、彼女は言います。「お~あなたが園に置いた蛇のせいです。あなたのせいです。神よ、あなた が蛇を園に置かなかったら、このようなことは起こらなかったでしょう。」だから、私は悪くない。あな たが悪いんです。いや、悪いのは妻のほうだ。いや、悪いのは夫のほうだ。いや、悪魔が私にそうさせたのだ。それ覚えてますか? 悪魔は、あなたに何もかもさせることはできません。誘惑はできます。 しかし私たちが彼に全面的に協力するのです。邪悪なことを言うのはどうでしょうか? ここに再度出てきます。あえて少しだけ説明してみましょうか。これで 3 回目となります。もっと多いかもしれませんが、彼らがやっていたことを説明するのに「邪悪」という言葉が使われているのは、数えると 3 回です。邪悪な拳="不当に拳で殴る" これは邪悪な拳で人を物理的に虐待していたのでしょうか? 恐らくね。邪悪な言葉を口にするのは? 時に、肉体的な暴力よりも言葉の暴力の方がひどい場合もあります。昔からよく言われていることですが 「棒や石で骨を折ることはあっても、言葉は私を傷つけることはありません。」そういうものですか? 何という嘘でしょうか。もっとこういう風です。「棒や石で骨を折ることはあっても、しかし、言葉は絶対に私を打ちのめします。」場合によっては、言葉よりも身体的なものの方がましです。その醜い舌で、誰かをズタズタにできます。繰り返しますが、ヤコブが舌について語っています。

今日、私たちが美しく主を礼拝しているのと同じ舌です。(ヤコブ 3:9参照)

ああ、なんと…。甘美でしょう? ああ、大好きです。この曲を聴くと、たくさんの思い出がよみがえります。「尊い主イエスよ、聖霊をお遣わしください。」そして、今夜ここを出て、帰り道で誰かが横入りして来たら言うのです。「この野郎」ってね。うわぁ。 あなたが神を賛美し終えたばかりの舌と同じ舌です。 どうですか? 邪悪な言葉? 自分が口にすることには、大変注意しなければなりません。邪悪な言葉。この章では、「人との会話」という共通のテーマが織り込まれているようなので、もう1つだけコメントしておきましょう。私たちの口調や言葉に言い方がありますか? 多くの場合、何を言うかではなく、どのように言うかなのです。例をあげます。私は、そこの兄弟、レイトゥにこう言います。

「レイトゥ、君って嫌だな~。ははは。」(冗談で)それとも、こんな言い方で言います。「レイトゥ、お前って本当に嫌な奴だな!」(怒りを込めて)そうじゃないけど、例えで言いました。違いが分かりますか? 同じ言葉を発したのです。でもそれなりの言い方です。噛みついたり切ったり、怪我をさせたり、傷つけたりするつもりで。傷つけたり、ケガさせたり、危害を加えようとする意図です。私たちの言葉には恵みの味付けが必要です。私たちが他人に話す方法は、人を見下すような言い方をしない、人を傷つけない、自分が人より優れていると思い込まない、必要以上に自分を高く評価しない、などです。たいていの場合、そこから生まれ、常に原因となるものです。すべての層をはがしてみると、それが見えてきます。その根底にあるのは高ぶり・プライドであり、「私はあなたよりも重要。私はあなたよりも優れている。私はあなたよりも霊的に優れている。」そして、それが起こります。これは、どうですか? "飢えた者に心を配り、苦しむ者の願いを満たす" 私たちは、多くの人々が傷ついている時代に生きていると思います。私たちは何をしているのでしょうか? 私たちは彼らを助け、励まし、奉仕するため何をしているのでしょうか? 神が気づいておられないとは思ってはいけません。なぜなら、私たちがそうするなら、神は聞いてくださり、答えてくださり、応答くださるからです。もし、あなたがこれらのことをするなら、そして、あなたがこれらのことをやめるなら、わたしは_______します。皆さん空欄を埋めれますね。ほ~ 11 節、12 節を聞いてください。これは驚異的です。

イザヤ 58

11 主は絶えずあなたを導いて、(それ頂きます。どこに署名すれば良い?) 焼けつく土地でも食欲を満たし、(それ頂きます。どこに署名すれば良い?) 骨を強くする。(私にもそれが必要です。) あなたは、潤

された園のように、水の涸れない水源のようになる。

12 あなたのうちのある者は、昔の廃墟を建て直しあなたは代々にわたる礎を築き直し、『破れを繕う者、通りを住めるように回復する者』と呼ばれる。

何ですって? あなたはそうなさるのですか? ーはい、もしも、なら、そうすれば、わたしがあなたを 導きます。特に、人生において非常に重要な決断をするとき、教えていただきたいことがあります。神様、 私に導きが必要です。 私はここで方向性を見出す必要があります。 あなたの上からの知恵が必要なので す。干ばつで魂を満足させる? 物事がうまく行かないとき、神は常に与えてくださり、他の人に降り かかる干ばつにも影響されない。"あなたの骨を強くする"それだけでも、言わば入場料を払う価値がある と思います。"あなたの骨を強くする" 私たちは何度祈りますか?「神様、私を強くしてください。」「そうしたいよ。そうするよ。もしも、あなたが~~するなら、わたしは_____します。」13節、13もし、あなたが安息日に出歩くことをやめ、わたしの聖日に自分の好むことをせず、安息日を『喜び

13 もし、あなたが安息日に出歩くことをやめ、わたしの聖日に自分の好むことをせず、安息日を『喜びの日』と呼び、...

これ覚えておいてください。すぐに理解できますから。

…主の聖日を『栄えある日』と呼び、これを尊んで、自分の道を行かず、自分の好むことを求めず、無駄 口を慎むなら、

14 そのとき、あなたは主をあなたの喜びとする。わたしはあなたに地の高い所を踏み行かせ、あなたの 父ヤコブのゆずりの地であなたを養う。―主の御口がそう語られる。」

それ大好きです。この章の終わり方が大好きです。神がこんな風に仰います。「わたしが言えば、決まりです。」(マイクドロップ)マイクを落とすと呼ぶやつですね。"主の御口がそう語られる。" 以上。ではこれは何の意味でしょうか。突然、私たちは断食から安息日へ。お~、それには理由があります。断食と安息日のこの共通点は、正しいことを間違った方法、間違った心で行っていたということです。お~彼らはまだ安息日を守っていました。しかし、偽善者よ。どうやら その聖なる日に、あなたがたは、なお快楽を求めていた。あなたがたは神を冒涜していた。自分の好むことをしていた。

「お〜我々は、安息日を守ってますよ。ちゃんと祈っているし。断食している。」言い換えれば、これは、彼らがどのように安息日を守っているかについて更なる矯正、有罪にするためのもので、これはイエスが実現されましたね。 無駄であり、ただ断食しているだけだと。あなたがたの安息日の守り方は、イエスが安息日の主です。ところで、もし知りたい人がいれば、実際よく言いますが、「出エジプト記 20 章」十戒のところで、このことについて大変深く勉強しましたね。第四の戒めです。(安息日を守ること)新約聖書のクリスチャンとして、ユダヤ人の安息日を守らないのはなぜか、その理由を深く掘り下げました。今やそういった人たちを安息日厳守主義者と呼んでいます。良いでしょう。もし彼らが 1 日だけそうすることを選ぶなら、それはそれでいいと思います。安息日や祭り、新月の祝い方で他人を判断してはいけません。 でも私たちはそれを深く学びました。ユーチューブにもウエブサイトにもある筈です。しかし、彼らが安息日に行っていたことは、祈りや断食に対して行っていたことと同じだということだけは言えるでしょう。すべては表向きのショーで、心の中は一致していませんでした。 これが叱責であり、矯正です。どうか見逃さないでください。愛する天の父が、ご自分の民を豊かに祝福したいと思っておられるのに、それが御出来にならないのが分かりますか? なさらないのではなく、お出来にならないのです。なぜなら、彼らがこれらの原則に反し、神の命令に従わない限り、神はお出来にならないのです。なざらないのではありません。お出来にならないのです。そうしたいのに。神の民にこんな風に仰っ

ているのです。私自身を例えにします。

「JD、わたしは、あなたが想像したり、考えたり、求めたりする以上に、あなたを大いに祝福したいと 思っています。あなたを祝福したいのです。わたしは、天の窓を開け、あなたがこう言うほどの祝福を 注ぎたいのです。『止めてください。こんな持てない、こんな受けれない 多すぎます止めてください。』」 それほど、私たちを祝福したいと思っておられるのです。そして、あの看板のように、知ってほしいと思 っておられます。「これが道だよ、こっちが道だよ。もし、あなたが~~なら、わたしはあなたを祝福出 来ます。わたしは本当にあなたを祝福したいのです。」ここで、あなたは、自分の人生がなぜこんな状態 になったのかをわたしに疑問を投げかけ、わたしを非難しています。あなたは考えたことがありますか? ショックなのは分かります。自分が悪いのだと考えたことはありますか? わたしがあなたを元の軌道 に戻すことができれば、いわば、わたしと同期して、御霊に導かれて歩き、肉の欲を満たさないようすれ ば、それから断食して祈ると、「ほ~~!! みんな静かに。ID が断食して祈っているよ。」マジですよ。 親しみを込めて「天の声」と呼ばれます。再度、親としての立場で考えてみてください。子どもたちが小 さかった頃、事実、ホームビデオがありますね。時に辛いですね。子どもたちはあっという間に成長して しまいますからね。彼らが幼かった頃、私たちはホームビデオがあって、何と可愛らしいこと。彼らの話 し方も彼らはとても... 時に、彼らの声が聞きたくなり、そのため、彼らが話すように、声が聴きたいか ら、何かをしてあげたいと思いました。 天の御父もそうだと思います。神は私たちの声を、私たちが話 すのを聞くのが大好きなんです。 そして、私たちを祝福することを切望しておられます。神が私たちの 祈りに答えたくないなど、一瞬たりとも考えてはいけません。からかっているのですか? 地上の親で ある私たちは、子どもに頼まれた時に良い贈り物をする方法を知っているでしょう?

魚が欲しいと言われて、蛇はあげません。(ルカ 11:11 参照)

それを考えてみてください。どれほどでしょうか。堕落した罪深い地上の父親でそうなら、どれほどでしょうか。あなたの天の御父は、求める者にどれほど聖霊を与えてくださるでしょうか。神はあなたに何かを差し控える事はあられません。良いものなら、与えたいと思っておられます。では、聖餐式を共にする前に、私たちの祈りや断食が答えられない他の理由を、聖句から紹介したいと思います。これはすべてを網羅しているわけではなく、順不同です。ここで、私たちの祈りが答えられない理由を、聖書から7つ紹介します。最初のものは、具体的に旦那様方、非常に不愉快ですよ。しかし、妻を不当に扱う夫に関係します。使徒ペテロが、第一書簡3章7節で書いている事を聞いてください。

Iペテロ 3

7同じように、夫たちよ、(深く理解するには、翻訳によっては、"配慮して"と訳されていますが。) 妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。(劣等生のパートナーではなく、 共同相続人です。肉体的には劣っていても。)また、いのちの恵みをともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。(理由→) そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。

訳すと、奥さんに思いやりのない人は、もしあなたが彼女に配慮して共に住まわないなら、彼女らに敬意を払い、愛さないなら、それでは、あなたの祈りは天井から跳ね返ってしまいますよ、ご主人方。私は今、大変罪を示されました。なので、次の2番に行きます。しかし、皆さんがそのことを理解しているかどうかを確認したいのです。妻への接し方が、神がどのように私たちの祈りを聞き、答えてくださるかに直結します。夫として、彼女らを粗末にすれば、私たちの祈りは妨げられます。 結婚 33 年目の夫である私自身の結婚生活の例をご紹介するつもりはありません。なぜなら、私は牧師なので、完璧な結婚生活を送

っていますから、では次の2番に進みましょう。私の後ろに雷が落ちてますか?その筈です。

2番:利己的な動機

繰り返しになりますが、これはヤコブです。今夜、たくさん出てきますね。ヤコブ4章3節です。

ヤコブ 4

3 求めても得られないのは、自分の快楽のために使おうと、悪い動機で求めるからです。

なんとこれはまさに、イザヤ書で私たちが学び終えたばかりの内容です。「あなたは祈って断食しても、自分自身の事、自分の喜びを求めているだけです。不誠実です。あなたはわたしに頼んで、祈って、わたしに何かを求めている。わたしはあなたのことを見抜いているので、あなたに与えるつもりはありません。わたしにそれを求める理由はよくわかっています。わたしは、それを与えるつもりはありません。」真実を言えば、あなたは神にそれを与えて欲しくない。あなた自身の危険につながる可能性があるからです。よく言われることですが、神が答えて下さったすべての祈りに感謝する。しかし、神が答えて下さらなかったすべての祈りについてはどうでしょうか。 ある意味、答えて下さらなかった祈りを、神に感謝しているようなものです。その祈りにそのように答えて下さっていたら、何と大変なことになっていたでしょう。 私があれを手にしていたら、崩壊していたかもしれない、神はそれを知っておられます。私にとって本当に役に立ったことの1つは、これまでにもよく紹介してきたとおりです。十分に伝えることはできないと思いますが、しかし神は、神が知っておられることを私たちが知っていれば、私たちが自分の祈りに答えるのと同じように、常に私たちの祈りに答えてくださいます。 そのことは、私たち一人一人に大きな慰めと快適さをもたらします。ですから神は、祈りに答えられます。ただ、その答えが気に入らない場合もあります。彼は3つの方法のいずれかで答えられます。

- ①はい。こう仰る時が好きです。②ダメ。なぜダメなの? そしてこれはどうですか? ③待ちなさい。 そのことについて、これからお話しします。
- 3) 御心ではない。 第一ヨハネ5章14節15節です。

Iヨハネ 5

14 何事でも神のみこころにしたがって願うなら、神は聞いてくださるということ、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です。

15 私たちが願うことは何でも神が聞いてくださると分かるなら、私たちは、神に願い求めたことをすでに手にしていると分かります。

言い換えれば、御心なら、手にします。欲しい時に、欲しい色で、欲しい方法で手に入らないかもしれませんが、神の御心に沿っているならば、神はそれを与えてくださいます。それが良いものであり、神に栄光をもたらすものであれば、あなたはそれを手に入れます。すべてあなたの物です。

4) 神のタイミングではない。

これはデカいです。イザヤ30章18節で見ましたね。

イザヤ 30

18 それゆえ主は、あなたがたに恵みを与えようとして待ち、...

は~私は待つのが大嫌いです。皆さんもそうでしょう? 私は待ちたくありません。むしろ、ダメの方が良いくらいです。戻って祈りを編集できますからね。すると、"はい"を手にします。待つのは嫌です。おぉっと、今のは心に刺さりましたよね。

...それゆえ、あわれみを与えようと立ち上がられる。主が義の神であるからだ。幸いなことよ、主を待ち

望むすべての者は。

これが、神のタイミングです。そう、私たちはいつも、すぐにこう言います。"神の遅れは、神の否定ではない。" 何と決まり文句なのでしょう。真実ではありますが、神のタイミングは完璧で、神は遅らせておられるのではない。ええ、そうです。もう一つの問題は、神は決して早すぎることもあられません。繰り返しますが、真実を知らしめれば、私たちが神に早くしてほしくないのです。今はまだ、その時期ではないので、神は待っておられます。ある人が的確に言った通り、タイミングが悪いと神は「ゆっくり」と仰い、私が悪いと神は「成長しなさい」と仰い、願いが悪いと神は「ダメ」と仰います。しかし、タイミングが正しく、私が正しく、願いが正しければ、神は「GO!さあ行きなさい。」と仰います。それが神のタイミングです。

5) 諦めるのが早すぎる。私たちはこれを親しみを込めて「しつこいやもめと不当な裁判官の例え」と呼んでいます。神は不当な裁判官ではありません。この女性は決して諦めなかった。彼女は毎日、一日中、一晩中、彼にメールし、彼の SNS に投稿し、ドアを叩き、電話するので、裁判官は、彼女をブロックしようとします。でも効き目がありません。彼女は正義を求めます。ついにその裁判官は言います。「ああ、どうやって彼女を止めよう?」彼女の粘り強さと持続性のせいで彼は立ち上がり、彼女が求めたものを与えた。それが、この例え話のポイントです。この例え話の前にルカの福音書 18 章の 1 節に記されています。イエスは彼らに例え話をされましたが、その目的と意味は次の通りです。

「いつでも祈るべきで、失望してはいけないことを教えるために、イエスは弟子たちにたとえを話された。」(ルカ 18:1)

次、6)自分の心の中にある罪の認識。

これはもちろんデカいです。「詩篇 66 篇 18 節 19 節 |

詩篇 66

18 もしも不義を 私が心のうちに見出すなら主は聞き入れてくださらない。 19 しかし 確かに神は聞き入れ私の祈りの声に耳を傾けてくださった。 さてこれは、私たちが罪のない状態でクリスチャン生活を送らなければならないと言っているのではありません。違います。愛すること、抱くこと、育むこと、実践することです。これは意図的な不服従です。 咎と罪の間には境界線があるのですよ。これは、あなたが見なすその罪を意図的に、故意に愛しているのです。あなたがそれを高く評価し、それが自分の心の中にあるのです。繰り返しますが、神が望んでおられないわけではなく、お出来にならないのです。それは神がどなたであるかということと矛盾しているのです。告白されていない罪と言った方がいいかもしれません。そして、

7) 他にどう言えばいいのか分かりませんが、 自分が求めないという、簡単なことです。 これも繰り返しになりますが、「ヤコブ4章2節後半」です。

ヤコブ 4

2b 自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。

これについて考えてみてください。今まで叶わなかった祈りがあるのではないでしょうか。 それは今ま で求めなかった祈りなのかもしれません。なぜならこれが、そういうことなんです。 あなたがたが求め ないから。あなたがたが求めないから。私が主との歩みを始めて間もない頃、このことについてとても良 い教えがありました。 永遠の肖像画に描かれたこの絵は、神が私のためにこれらすべてのものをご用意 して下さっていました。私が求めさえしていれば。しかし私はしなかった。なぜしなかったのか? 神が 答えて下さるとは、思わなかったのでしょうか。贅沢すぎると思ったから? 大げさすぎたから? これ はどうですか? 不信感で、神にはできないと思ったのでしょうか。祈りには大きすぎるものも小さす ぎるものもありません。 例を上げます。ぴったりの例なので使わせてもらいます。コストコ・イヴィレ イ店の駐車場の確保を祈ります。 何か分かりますか? 神に駐車場の確保をお願いするのです。そして 得ます。ワイマナロに駐車しなくても大丈夫なのです。ここがポイントです。求めていないものを見ては いない、ということですね。特にあの駐車場に車を停めるときのことを考えてみてください。国内だけで はなく、世界で一番混雑しているコストコではないでしょうか? どうでしょう? そう、ハワイだけな んですよね。あの駐車場に車を入れると近くに空きがあるはずがないと考えます。お~本当に? 神が 駐車スペースをお持ちとは思っていないのですね。そう、みんなそう思っていて、求めようともせず、神 にお願いしようともしない。実際、駐車場の確保を祈っているのは私だけだと思います。私よりも霊的な 人がいなければ、私よりも先に駐車場を確保できるでしょうが、おそらく私だけでしょう。なぜなら、私 が求め、私が求めていることに、神が答えて下さるのを期待しているからです。だから、前方に停車しま す。見てください。そこの男性がカートを持って車を停めています。「ここ駐車したい?」「ええ、兄弟。」 イエス様、ありがとうございます。ハレルヤ! 真正面ですよ。申し訳ない気持ちになりそうです。本当 はそうではないけど、ちょっとだけです。自分のものにならないのは、あなたがたが求めないからです。 求めなさい。わたしに求めなさい。思ってしまうのは、神がこう仰ってるようです。「なぜわたしに聞か なかったのですか?」「うーん、わからないです。」「あなたが求めてるものを提供するつもりでしたが、 わたしに求めませんでした。」なぜ私たちは求める必要があるのか? なぜ神は、ただなさって下さらな いのか? なぜなら、私たちが求めると、私たちの中で、私たちに何かが起こり、そして主がそれを実行 され、祈りに答えてくださるのです。それは信仰と関係していると思います。神がやって下さるという信 仰と信念。最後の1つ、それから聖餐式をしましょう。ご忍耐感謝します。最後にしたのはいつですか? 私と一緒によく考えてみてください、いいですか? 神に、ぶっちぎりの上限を超えたお願いを最後にし たのはいつですか?「神様、私には奇跡が必要なんです。 駐車場が欲しい、癒しが欲しい、これが必要

で、あれが必要です。」ととんでもない願いをしたのは? 神はこんな風です。「よろしい。それがわたしの語る事です。わたしには出来ます。わたしは神だからね。あなたは求めた。わたしを見ていなさい。」そして、神はなさいます。私たちはほとんど信じられません。「わお~神はなさったんだ。」と。その時、私たちはほとんど疑います。まるで疑問を持ち始めるという感じです。「信じられない!!!」「あなたが求めたので、わたしはしました。わたしは神ですよ。何でも出来ます。わたしに出来ないことなどありますか? わたしは不可能をする神です。それは不可能でしたが、わたしは不可能を可能にするのです。」そしてあなたはこうなります。「神様、ありがとうございます!」そして、ここからが起こる事です。私自身の事を話します。自分が求めなかった時のことを考え始めてしまいます。そしてこうなります。「あれも求めればよかったのに、求めなかった。なんということ!それなら全てをあなたに求めます。」「良いですよ。何でも求めなさい。」御父を讃えるものであり、良いことなら。

なぜなら、すべての良い、完全な贈り物は上からのものです。(ヤコブ 1:17)

再度、ヤコブです。あなたはそれを得ます。あなたはそれを手に入れます。あなたのものです。「それがわたしに栄光をもたらすなら、そしてあなたにとって良いなら、わたしは、あなたにそれを与えます。」では、これが祈りや断食をする際、皆さんへの参考や励みになれば幸いです。では、「ルカの福音書 22 章」です。(咳)喘息、喘息です。喘息で咳が出ます。最近は、あえて咳をしないようにしますもんね。14 節から読みます。最後の晩餐、過越祭の記述があります。ルカが聖霊によって書いています。

ルカ 22

- 14 その時刻が来て、イエスは席に着かれ、(12人の) 使徒たちも一緒に座った。
- 15 イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、(十字架刑の前に) あなたがたと一緒に この過越の食事をすることを、切に願っていました。
- 16 あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をすることは、決してありません。」
- 17 そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。
- 18 あなたがたに言います。(二度目です) 今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」
- 19 それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

聖餐式セットの上部からパンを取って、少しお待ちください。私たちが手に取っているのは、私たちの代わりに、私たちのために砕かれるイエス・キリストのお体の象徴です。骨は砕かれません。それは、神の子羊としての資格を失うことになります。というのは、過越の子羊とは、骨は砕かれないからです。皮膚が砕かれるのです。イエスのお体は砕かれ、砕かれた皮膚に血が流れました。これについては後ほど説明します。イエスのお体は、私たちのために、私たちの代わりに砕かれました。なぜか? イエスが私たちのために全額支払われるからです。このことを頭に入れておいてほしいのが、この件については、あまり長くは語らないことにしますが、私たちが、イエスが私たちのためにされた事を話す時、イエスが私たちのために、このようなことをして下さったのは、イエスの私たちに対する愛のためであるのを、私たちが十分に理解しているかどうかわかりません。彼はそうする必要はなかったんですよ。イエスは、指を鳴らさず、眉をあげて合図せずとも、すべてを止めて、人間を救うための全人類の罪の苦しみを拒むことがで

きたのです。十字架にかけられ、死んで、葬られ、三日目によみがえることをよくご存知でした。なぜそれが重要なのか?「罪の報酬が死」であり、主が私たちのすべての罪を完全に償わねばならないなら、主は死から復活しなければなりません。でないと、完了しません。そうでなければ、それは不完全です。私たちのために、死なねばならなかっただけでなく、私たちのために死からよみがえらねばならなかったのです。死を打ち破るために。それで完成(完了)です。それを今夜、私たちはお祝いするのです。それが、私たちがイエスを覚えるためにするのです。これも重要なポイントです。さっとお伝えします。これを覚える必要があります。毎月、第一木曜日に一緒に与るからしているのではありません。このことを毎日、毎月、日々毎時間、思い出す必要があります。なぜなら、それは私にとって全観点になるものだからです。「お~そうだ。私は救われているんだ。私の全ての罪が支払われているんだ。過去、現在、未来の全ての罪が、全額支払われたんだ。」

「完了した。」(ヨハネ 19:30) フィニート(伊語:完了)ハラス(アラビア語:完了)言わば、処理済です。済みました。私は救われています。私は代価を払って買い戻されました。私は自分のものではありません。イエスが私を買い戻してくださいました。一緒に与りましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、あなたを思い出すよう、これをするよう私たちに与えて下さったことを感謝します。お~、あなたと同じで、私たちも、切に望み願います。今夜ここで行っている事を、あなたと一緒にする時を。これがあなたの王国で成就する時。お~主よ、これは、ただそれがどのようなものになるのかただほんの少し味わうだけです。主よ、あなたが私たちのためにして下さった事で、私たちがあなたと、私たちに待ちうける事へ立ち返れるのを感謝します。主よ、ありがとうございます。同様に、ルカは続けてこう書いています。

ルカ 22

20 (イエスは) 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。

ここにいる皆さん、聖餐式セットの残りの部分を開け、再度お待ちください。オンラインの方、杯を取っ てください。今日は、今夜のことを想定して、準備をしながら考えていました。7というのは完全数の数 字ですね。イエスのお体は砕かれ、7か所から血が流されました。 数えてみたいですか? 両足(①②)、 両手(③④)、背中(⑤)、生々しくしたくありませんが、背中は骨まで皮膚がえぐられました。これが5 箇所目です。6 箇所目は、思い違いしないでほしいのが、茨の冠で、頭蓋骨に突き刺さりました。茨がと ても大変長かったのです。額は非常に多孔質であることを身をもって知っています。私が実際に額を切 った時、一度だけ、チップを埋め込んだことがあります。冗談ですが。皆さん、まだ聞いておられますね。 もう終わりますから。オークションに参加していた時に、立ち上がって、鏡の端にぶつかって、それが私 の... まだ少しだけ傷跡が残っています。それで、再度生々しくなりますが、血が吹き出ました。私は床 を見ながら、自分自身を考えました。人々は、救急車を呼んでいます。みんながパニックになって、私も パニックになりました。それはしょうがないことですよね。誰かが騒ぎ始めたら、私も騒ぐべきでしょう からね。それで、吹き出る血の量を見ながら考えているわけです。人間の体にはどれくらいの血が流れて いるのかこれはどれくらいの量なのかと考えています。物凄い量なのです。額は非常に多孔質です。想像 してみてください。どれほどの血が、イエスの額から流れたか。生々しい描写を、生々しいままで知るの がいいのかもしれません。なぜなら、私たちは時に、美化しすぎると思うからです。 つまり、イエスの 顔は、もう認識できませんでした。まず第一に、彼は徹底的に殴られました。なので、血が顔を覆ってい

たはずです。それが6箇所目です。そして、7箇所目は、ローマ兵士が、イエスの脇腹を突き刺した時で、すぐに血と水が出て来ました。(ヨハネ 19:34)

それが7箇所目。7は、完成数です。なんと的確なのでしょうか。「完了した。」なぜか? なぜなら、血が新しい契約だからです。私たちが手にしているのは、私たちの代わりに流された主の血の象徴です。 聖書は語ります。

「血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。」(ヘブル 9:22)

血に御力があるのです。一緒に与りましょう。済まれたら、ご起立ください。祈りで締めくくります。 賛美チームが上がってきて、賛美で締めくくります。再度、ご忍耐に感謝します。聖餐式を慌ててしたく はありません。

天のお父様。感謝します。本当に、感謝してもしきれません。イエス様、あなたの血潮に感謝します。今夜ここで行ったことは、あなたを覚えるためです。私たちは覚えます。記念であり、お祝いです。永遠のいのちという贈り物のために。十字架上で完了した御業だからです。主よ、ありがとうございます。繰り返しますが、待ちきれません。ラッパが鳴り、携挙の時、まずキリストにある死者がよみがえり、次に、生き残っている私たちが空中で彼らと会い、そして空中であなたと会い、いつまでも一緒にいることを。それから、私たちがあなたの王国で、今夜ここで行ったことをするのです。最終的な究極の成就のため、顔を合わせるのです。 お~主よ、感謝します。主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

http://www.calvarychapelkaneohe.com/

Calvary Chapel Kaneohe47-525Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7